

注意事項

安全上のご注意

- ◆ ドライバーの移動,取付,点検,コネクタの接続は、電源を切ってから行ってください。
 - 感電、ケガの恐れがあります。
- ◆ ケーブルを無理に曲げたり,引っ張ったり,挟み込んだりしないでください。
 - 感電、ショート、火災の恐れがあります。
- ◆ 運転中や停止直後にドライバーの筐体に触らないでください。
 - ヤケドの恐れがあります。
- ◆ 通電部を露出させないでください。
 - 感電、ショートの危険があります。
- ◆ 濡れた手で操作しないでください。
 - 感電の恐れがあります。
- ◆ 停電時は電源を切ってください。
 - モータの突然の再起動によるケガ等の恐れがあります。
- ◆ 修理,分解,改造は行なわないでください。
 - 感電、ショート、ケガ、火災の恐れがあります。
- ◆ 爆発性,腐食性,引火性の雰囲気で使用しないでください。
 - 爆発、発火、引火の可能性があります。
- ◆ ブレーキ機能のあるドライバーに関して
 - ブレーキはモータ停止時にご使用ください。
 - 回転中にはブレーキを掛けないでください。

使用上のご注意

- ◎使用環境に関して
 - 一般家屋内にて機器組込での使用を想定しています。
 - ほこりがかからないようにしてください。
 - 通気等で放熱しやいようにご配慮ください。
 - 外部から大きな振動や衝撃を加えないでください。
- ◎運転に関して
 - ドライバーや通電部に水などの導電性の液体がかからないようにしてください。
 - 回転方向の切り替えは、モータが停止してから行ってください。
 - モータのシャフトをロックしないでください。
- ◎ケーブルのインダクタンス分によるサージ電流を小さくするため
 - ケーブルはなるべく最短距離(目安1m以下)でご使用下さい。
 - ケーブルのループを作らないでください。
 - 大電流の流れるケーブルから概ね 30cm以上離してください。
- ◎ドライバーの出力に関して
 - ドライバーの最大出力は主にドライバー内部品の許容温度に制約されます。
 - ドライバーの温度を下げることで、より大出力でも使えるようになります。
 - ドライバーの放熱部の温度をは、80℃以下を目安でご使用ください。